

未来への教訓

復興！ 大津波の記憶を風化させない

平成29年(2017年) 5月の出来事
～ 地元報道より～

南三陸町

- ◆2日安倍首相が吉野復興新大臣と共に、南三陸町の復興を視察する。
- ◆三陸ワカメが高値を維持して終了した。入札ではワカメの数量が減っても金額は増加した。塩蔵(芯抜き)で、10k当たり1万629円で、昨年よりも約2300円を上回った。
- ◆4月30日「ほやまつり福興市」で1袋500円のおまけ放題に200人が列をつくった。志津川湾の「ほや」が大人気だった。
- ◆衆議院宮城小選挙区の南三陸町の区割りが、気仙沼・登米市の6区から石巻市圏域の5区に編入される。佐藤町長は政府に反対の申し入れをした。
- ◆5日歌津のヒツジ牧場「さとうみファーム」で、ひつじの毛刈りショーが行なわれた。
- ◆2002年の竹川原の工務店経営・佐藤茂義さんと妻の強盗殺人事件から、15年を迎え、南三陸署は情報提供を呼び掛けている。

南三陸町の災害公営住宅の整備が16年度末で完了した。集合と戸建てで738戸で総額では199億円で、資材・人件費の高騰を見込んでいたが、1割約18億円の減額となった。1戸当たりの整備費は2700万円となった。

- ◆登米市迫町ソフトボール協会主催の春季女子ソフトボール大会で、志津川・鹿折中の合同チームが優勝し、7月の県総体にはずみをつけた。合同チームは、志津川7人と鹿折11人。

環境省は青森から福島までの三陸復興祈念公園内に設置する「みちのく潮風トレイル」の、歌津石泉から神割崎まで38kmの「南三陸ルート」が開通した。全区間は全長で700kmにもなる。

- ◆歌津地区の伊里前小学校の3年生17人がふる

南三陸町と気仙沼市の復興の進捗と問題を比較して見れます。

5月の出来事

気仙沼市

- ◇気仙沼の障害者就業・生活支援センター「かなえ」の利用者が増加している。昨年度の登録者数は319人で相談件数は過去最高の約5600件となった。協力企業が徐々に増加している。
- ◇気仙沼市の16年度観光客の入込数は、全体では135万人で宿泊客が1.2倍と増加した。

気仙沼市は第3子以上の入学に、1人3万円の祝い金支給を始める。今年度からスタートし、市は約80人を見込む。

- ◇気仙沼市立大島中野球部は、全国離島交流野球大会へは、架橋完成により出場資格を失う事から、最後の「離島甲子園」となる。部員は15人で3回目の出場に参加費への寄付を募っている。
- ◇気仙沼市の市議の政務活動費の使途などがHPで初公開され、ほとんどが県外への宿泊や交通費で、昨年は交付額の4割にあたる105万円が各会派の県外視察に使われた。気仙沼市議会の政活費は月1人当たり1万円が交付される。
- ◇気仙沼市の「子育て世代包括支援センター」への相談が半年で300件にのぼった。子供たちの人口が減少している中でも、家族利用も増加傾向にある。
- ◇9日午後2時頃に大谷郵便局に軽自動車があふかった。南三陸町本面に向うトラックが車道を逸脱し、局から出ようとしていた軽自動車

さと学習で、伊里前川のシロウオ漁について学んだ。

- ◆11日に歌津皿貝の製材所から出火し、山林にも延焼となった。午後4時57分の帰宅時間と重なり、国道は大渋滞となった。午後7時時点でも鎮火しておらず、歌津地区の500戸が停電した。
- ◆歌津地区に15日「アイルーム歌津」として、ホテルが開業する。観光客の増加が期待されている。シングル43室とダブルが3室の計46室。料金はシングルが一泊6200円からとなっている。
- ◆南三陸町の西宮神社の参道にツバキを植樹した。津波の避難の「道しるべ」にと、西宮ロータリークラブが贈った。
- ◆第63回三陸弓道大会で、団体一般で志津川弓道会が優勝した。大会には88選手が参加し、団体高校の部で志津川高校が準優勝し、個人では高校男子で②佐藤歩夢(志津川)、一般の部では①高見里奈③高橋長泰が入った。
- ◆14日「つつじ満開！しろうおまつり福興市」が、歌津の「ハマレ歌津」で開催された。雨の中ながら2年ぶりの「しろうおまつり」の躍り食いが人気を集めた。
- ◆14日第23回南三陸町「たつがねMTB(マウンテンバイク)大会」が、90選手が参加して、濃霧の悪条件の中でも、激走し順位をきそった。山形からビギナーズレディース部門に初参加の小川優香里さんが初優勝した。地元関係では、エントリーメムズで3位に藤川さんが入賞した。
- ◆南三陸署は16日に塩釜市の会社員尾形拓哉容疑者(26)を、市内の新築工事現場でコンプレッサー1台を盗み、建造物侵入と窃盗容疑で逮捕した。
- ◆県が管理する気仙沼・本吉地方の海岸防潮堤の整備がまだ25%の進捗と、漁港施設は70%が完成している(16年度末)。
- ◆歌津の定置網にカラフトマスが入り、気仙沼魚市場に水揚げされた。
- ◆南三陸町は楽天球団とスポーツ振興と健全育成に、パートナー協定を21日に平成の森で締結する。
- ◆災害に強い地域づくりに、南三陸町立志津川中学校に「少年防火クラブ」が発足し、式には生徒244人と南三陸消防署・消防団・婦人防火クラブなど30人が出席し、防火団体の結束となった。
- ◆昭和35年5月24日のチリ地震津波襲来があり、津波の恐ろしさを後世にと南三陸図書館で

と衝突した。そのはずみで大谷郵便局の玄関にぶつかった。

気仙沼市は仮設商店街意向調査を行い、現在8地区に96店の事業所が入居している。そのうち再建未定は3割にものぼり、1割は退去後に「廃業」で、6割は「自立再建」と回答した。

◇気仙沼市は三日町に一軒家を活用した「こども」を開設し、子供の「学び」「遊び場」を誕生させた。子供たちの豊かな情操を育むため、美術や工作・ゲームなどに挑戦する場とする。見守りでの大人利用も歓迎している。

気仙沼市内の事業所の「企業立地補助」の交付前に7割が辞退をしていた。理由には人手不足などでの要件が満たせない事がある。2013年度始めた津波・原子力災害被災地雇用創出企業立地補助金(津波補助金)制度。気仙沼市の場合は大企業で3分の1～8分の1、中小企業で2分の1～6分の1以内。制度は水産加工業や製造業など、工場新設や物流施設などの立地に要する用地取得、建屋建設の一部に支援する。

◇気仙沼市の「海の市」のシャークミュージアムの再開から3年が経ち、再開の1年目には3万7417人の入場者だったが、前年比では1割が減少した。先月末には「氷の水族館」がオープンし、相乗効果が期待されている。

◇県が介護人材確保として、県内在住の外国出身者を対象に東北福祉大と連携して、介護福祉士養成講座をスタートした。国家資格の取得に1期生として、気仙沼市内の介護施設で働く女

「チリ津波資料展」が開催された。

- ◆南三陸町の3月31日までの人口あたりの高齢化率が「34.2%」と県が発表した。人口は1万3426人(昨年より291人減)で、高齢者人口は4598人と昨年より46人増加した。高齢者の人口区分として、65歳～69歳で1290人だった。気仙沼市は35.8%で県内7位、南三陸町が8位だった。最も高いのは七ヶ宿の46.4%だった。
- ◆5月にスタートした南三陸町の「キラキラウニ井」が人気を集め、さんさん商店街では昼食時には20人もの長い行列ができています。ハマレ歌津でも1日30食限定で販売している。キラキラウニ井ののぼり旗のある飲食店では、2500～2700円(税込み)で提供している。

「ハマレ歌津」は開業1カ月を迎え、入り込み数が9万3300人だった。16年度は10カ月で1万人と9倍以上となった。統計をとった14年度の年間実績の6倍にもなる。4月23日のオープンから三陸道効果も後押しした。

◆志津川高校に震災風化防止への資料室に、空き室活用で整備。県内公立高校では初設置で、写真や映像モニターも展示。学校間交流、地域の防災学習などに活用する計画。

◆南三陸町への台湾からの教育旅行は、民泊や震災語り部が人気となっている。15年は3校から176人、16年は7校から172人が訪れている。23日には高校生74人が来町した。

◆南三陸町の歌津総合支所の完成にあたり「FSC認証」へ審査の手応えを感じている。「南三陸杉」のブランド力の強化を期待している。

◆南三陸町歌津番所の高橋才二郎さん(67才)は、行政相談員として東北管区行政評価局長表彰を受けた。

南三陸町の災害公営住宅の家賃請求が一部で遅れていた問題で、契約書類の不備や家賃の算定ミスが見つかり、すでに家賃が払われている全世帯に及ぶ可能性が出てきた。町では6月から職員5人を特別対策員として専従させる。全世帯の再策定を行なう。

◆南三陸町歌津の津龍院で28日、館寺俊明住職(42才)の就任を祝う晋山式と、本堂の落慶法要が行なわれた。

性6人が受講し、県が人手不足対策で今後サポートしていく。

気仙沼市の災害援護資金(世帯主が負傷したり住家や家財に損害を受けた世帯に最大で350万円を貸し付ける制度)が、本年度から据え置き期間も終了し返済が開始となる。貸付総額の総数は798件で18億6千万円、周知徹底を図り滞納防止に努めていく方針だ。2011年は最多の261件で6億2300万円を貸し付けた。

◇市税収入が2016年度は約64億9千万円で、10年度実績比の99.1%までに回復した。建設中心に法人税が伸び、住宅再建の固定資産税の伸びを受け震災後最高の税収となった。好調だった「たばこ税」は6億2900万円で、1790万円(2.8%)減少した。

◇16年度高卒者の就職率が5年連続100%を達成した。(ハローワーク気仙沼管内)110人が地元企業を選択した。

◇気仙沼市立中学校長会は、不祥事の根絶を誓い、気仙沼市齋藤教育長に決意表明を手渡した。

◇気仙沼製氷冷凍組合は外国人実習生の受け入れ体制充実へ。10月までには10事業所96人に拡大する。

◇気仙沼信用金庫津谷支店職員の佐藤さんに、特殊詐欺を未然に防止したと気仙沼署が感謝状を贈った。

◇気仙沼市の被災事業者の拡充の補助金制度が件数・金額とも倍増している。仮設住宅から本設に移行の補助限度額のかさあげ、仮設商店から再建の本格化にともない、昨年度の交付は21件5500万円と倍増した。